



東北大学

東北の豪族達 学際研究で蘇る



併設展示

知の交差点：
異分野との出会いから続く
未来への道

戸塚山古墳出土土人骨復元像

2024.

5.25(土) ▶ 29(水)

9:30-18:00

(一部デジタル展示は10:00よりスタートします 最終日は19:30閉場)

会場

せんだいメディアテーク
1F オープンスクエア

宮城県仙台市青葉区春日町2-1 <https://www.smt.jp>

入場無料

主催 | 東北大学学際科学フロンティア研究所
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
<https://www.fris.tohoku.ac.jp>



後援 | 株式会社サンクアール

米沢市教育委員会、喜多方市教育委員会

協力 | 東北学院大学博物館、株式会社アートフリースクエア

Frontier Research Institute for Interdisciplinary Sciences
TOHOKU UNIVERSITY

学際研究という言葉を知っていますか？

学際研究は、異なる学問分野の専門知識や方法論を組み合わせ、互いに協力することで、より広い視野から新しい解決策を生み出す研究アプローチです。

本展示では、考古学・人類学・遺伝学・理化学的解析といった最新の研究手法を駆使し学際研究で甦った東北地方の豪族を紹介します。

併設展示では、若手研究者たちが学際研究をすすめている東北大学学際科学フロンティア研究所の活動を展示します。

新しいデジタル体験

急速なデジタル技術の革新により、昨今では精巧な模型作成にとどまらず、まるでそこに実物があるかのような3D空間体験が可能になりました。本展示では、広域空間再現ディスプレイやVRといったデジタル技術を用いた全く新しい体験を通して、研究成果や研究者の生活を知ってもらいたいと考えています。

学術講演

当日入場可・事前申込優先

5/25(土)
10:30
-12:00

形態と文化と道具で探る古代の人々

演者 波田野悠夏・鈴木敏彦・伊豆原月絵・山極海嗣

人類学や考古学を専門とする4名の研究者が、出土した遺物を手がかりに過去の人々の姿や文化に迫ります。



a: 歯(戸塚山古墳出土)
b: 刀子(戸塚山古墳出土)
c: 具斧(浦底遺跡・宮古島市教育委員会所蔵)

5/26(日)
13:00
-15:00

研究者になるってどんな感じ? -世界を変える仕事への旅人-

演者 岡本泰典・松林英明・市之瀬敏晴・中安祐太
安井浩太郎・齋藤勇士・波田野悠夏・村越ふみ

8人の研究領域の異なる若手研究者が、これまでの人生を振り返りながら、研究者の生活を紹介します。
(対象年齢：小学生以上)



5/29(水)
18:00
-19:30

サイエンスカフェ 王達の棺：考古学からみた東北の豪族たち

演者 辻秀人・鈴木敏彦

東北地方の弥生時代から古墳時代への変遷過程を研究されている辻秀人氏を招き、展示されている灰塚山古墳発掘調査を中心に古墳時代の王たちの姿に迫ります。



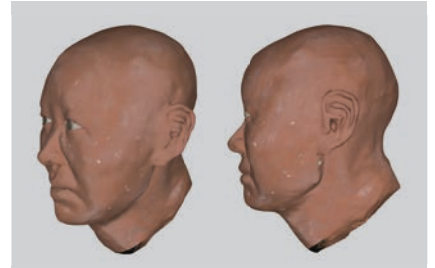
展示

ご自由にご覧いただけます

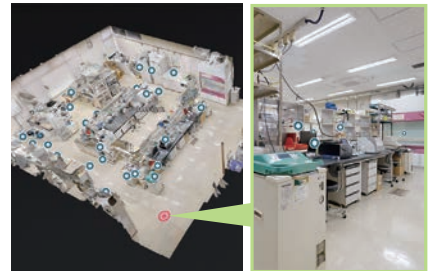
精巧な3Dプリンターによる 発掘人骨の模型展示



古代人が甦るまで (SONY空間ディスプレイ)



FRIS CoRE ってどういうところ? 実験室をのぞいてみよう (VR展示)



参加方法
(学術講演)



こちらのWEBフォーム
からお申し込みください

インターネットが利用出来ない方は下記問い合わせ先まで
講演会参加のご希望をお電話ください。

(業務の都合上、月・火・金 13:00-17:00にお電話いただけますよう
ご協力お願いします)

主催事務局(波田野)：TEL：022-717-8269
〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町4-1

学際科学フロンティア研究所 (FRIS) の使命

生物は自然環境や他の生物種などと相互作用し、多様な進化を遂げてきました。研究者も同様に、自らの専門分野に留まるのではなく、他分野の研究者と相互に作用し合える環境に身を置くことで、多様な研究者(研究種)が育まれると考えます。そして、多様性に富んだ新しい科学が豊かなイノベーションを生み出すと信じています。学際科学フロンティア研究所では、6つの研究領域に分けられる異分野の研究者が多く集まる研究所です。私達は、学際的研究を開拓し、知識や価値を生み出すことで、より豊かな人類社会の発展に貢献することを目指しています。

FRIS(多様な研究種) × CoRE(多様な種の共栄を可能とする場) = 新しい科学の創造

FRISは①世界中から②専門分野を問わず③若手独立研究者が集まる日本では稀有な研究所であり、多様な研究種が「共存」しています。FRISがめざすのはその多様な研究種が日常的に良い刺激を受けながら「共栄」する場所=CoRE、の実現です。CoREとは一つの屋根の下に様々な分野の実験設備を整備することで、日常的な異分野交流を可能とする協働的研究環境、Cooperative Research Environmentを意味します。FRIS × CoREで多様性に富んだ科学の創出をめざします。

学際科学フロンティア研究所やFRIS CoREでは、「学際科学フロンティア研究所学際科学若手研究者支援基金」として、皆様からの寄付を募集しております。学際科学フロンティア研究所の若手研究者による、独創的な異分野融合研究へのチャレンジを応援いただける方は、こちらのQRコードより基金への支援をよろしくお願いいたします。



分野横断型研究環境
FRIS CoRE

複数の分野の基盤環境を
アンダーワンルーフで有し、
異分野交流を加速

基盤環境=日常的な一連の
実験を執行可能な環境



3つの基盤の実験室
(化学系・生命科学系・工学系)と
異分野交流を加速する
サイエンスラウンジからなる。



Cooperative Research Environment = CoRE